

1999年5月25日

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター  
ワークショップ・公開講演会開催のお知らせ

「生活史，語り，表象」  
"Life History, Narratives and Representation"

ジェンダー研究センターでは、7月5日から11月5日まで、マラヴィカ・カールレーカル先生をニューデリーより客員教授としてお迎えします。マラヴィカ先生の研究テーマは、エンパワーメントの視点に立つての女性労働、女性教育および女性にたいする暴力ですが、最近はとくに、植民地時代のインド女性個人の生活史をめぐる語り、およびその家族にかんする映像表現という面から、幅広い研究活動をされています。当研究センターでは、「個人の語りと写真をとおして女性を知る」("Viewing Women through Personal Narratives and Photographic Representations")をテーマに研究をされます。

つきましては、以下の日程でワークショップを開催します。

日時：1999年7月18日（日），19日（月），20日（火，海の日）  
10：00～17：00（10：00～12：00 講義，13：00～17：00 討論）

場所：図書館 第二会議室

午前中の講義は、あらかじめ原稿を配布します。午後は、参加者の方々の研究体験に基づく討論を行います。原則として英語で行われますが、必要に応じて、臨機応変に周りでおたがいに通訳をし合って、コミュニケーションを深めたいと思います。

参加ご希望の方は、所定の応募用紙にご記入の上、7月5日(月)必着で当研究センターにFAXまたは郵送でご送付ください。ワークショップの性質上、参加人数が限られますので(30人前後)、原則として3日とも参加できる方を優先します。応募者多数の場合は、やむをえず抽選とさせていただきますのでご了承下さい。その場合、抽選にもれた方のみご連絡を差し上げます。なお、恐縮ですが、資料代(実費)を申し受けます。

また、サウスキャロライナ大学よりフェイ・ハリソン先生をお迎えして、ともに公開国際シンポジウムも開催します(日時:10月2日(土)、午後2:00-4:00、場所:お茶の水女子大学文教育学部一号館1F第一会議室)。タイトルは「ジェンダー、エスニシティ、「人種」」("Gender, Ethnicity and "Race")"です。参加自由で、人数の制限はありませんので、ご関心のある方をお誘いあわせの上、お出かけください。申し訳ございませんが、講演会では資料代(実費)をいただきます。

お問い合わせはFAX(03-5978-5845)でお願いします。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター長 原ひろ子

マラヴィカ・カールレーカル先生  
ワークショップ・公開講演会応募用紙

公開国際シンポジウム(10月2日) 参加希望 丸で囲んでください  
参加する 参加しない

夜間セミナー参加希望日(丸で囲んでください)  
7月18日(日) 19日(月) 20日(火 海の日)

お名前

ご勤務先/ご所属

ご自宅

Tel Fax E-mail

ご勤務先

Tel Fax E-mail

ご連絡先/ご住所 Fax、E-mailのいずれもお持ちでない場合のみで結構です)

専門分野/興味のある分野

送付先 : お茶の水女子大学ジェンダー研究センター  
住所 : 〒112-8610 文京区大塚2-1-1  
地下鉄丸の内線茗荷谷駅, 地下鉄有楽町線護国寺駅よりいずれも徒歩10分  
Fax : 03-5978-5845

マラヴィカ・カールレーカル先生略歴

1967年 オックスフォード大学, 哲学・政治学・経済学学士号取得.

1975年 デリー大学, 社会学博士号取得.

現在 ニューデリー, 女性と開発研究所教授.

主要著作は,

*Poverty and Women's Work: A Study of Sweeper Women in Delhi* (New Delhi, Vikas, 1982)

*Voices from Within: Early Narratives of Bengali Women* (New Delhi: Oxford UP, 1991)

*Women's Studies, Women's Lives: Theory and Practice in South and Southeast Asia* (New Delhi: Kali for Women, 1994. 共編)

*Search for Equality: Resources on Women in Asia* (New Delhi: Abhivyakti Graphics, 1995. 共編) 他, 論文多数.